

《受給資格認定申請書（様式 1）》

- ① **【紙申請のみ】** 審査を容易にするため、申請書の余白に就学支援金申請時の通し番号を付すこと。
(例：25-〇〇〇〇 (就学支援金番号の下 4 ケタ))
- ② 鉛筆や消せるボールペンは使用しないこと。また、黒又は青以外の色ペンも使用しないこと。
- ③ 生年月日、書類作成年月日等は和暦で統一し記入すること。
- ④ **【紙申請のみ】** 学校受付日を漏れなく記入すること。

《就学支援金の受給資格認定結果一覧等》

- ① 電子ファイル及び紙媒体にて提出すること。
- ② e-Shien での出力時、「所得制限・加算の区分」の欄を「所得制限」とすること。
- ③ 初回申請では、**4～6 月の結果を確認できるもの**を提出すること。(4～6 月分の就学支援金の申請をしていない場合は不要。)
- ④ 令和 7 年度内に判定結果及び就学支援金の支給状況に変更があった者については、それが確認できる書類(就学支援金支給停止者一覧(様式 22) 及び就学支援金支給再開一覧(様式 26) 等)を添付すること。

《単位制の場合》

申請書と合わせて、「**支給一覧**」に履修状況等を記載し、電子ファイルで提出すること。なお、記載に当たっては、記載要綱を参照すること。

《その他》

- ① 今回の申請対象は、**令和 7 年 4 月～6 月の就学支援金の判定結果がない(未申請の)生徒及び令和 7 年 4 月～6 月の判定結果が不認定(所得制限)の生徒であるもの。**
令和 7 年 7 月以降の判定結果が不認定(所得制限)の生徒の申請は、別途通知予定(収入状況審査後)であるもの。
- ② これまでに臨時支援金を受給した期間がある場合は、支給が決定した旨の通知又は受給実績を証明する書類を併せて提出すること。
- ③ 臨時支援金の算定対象期間は、申請日に関わらず令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日の 1 年間であり、支給額は、就学支援金の支給を受けている月その他在学期間等を勘案して調整するもの。在学期間は、毎月 1 日の在学状況により判断するため、申請前に休学した期間がある場合は、その旨が分かる書類(任意様式)を提出すること。